



# リノベーションで造る スタイルのある住空間

自分らしく暮らすために“中古住宅を購入してリノベーション”にハマる人が急増中。  
憧れの世界観を造り出すためには、良きパートナーに出会えるかがポイントだ。

神戸市・S-house Produced by Ann Maison World corp.

取材・文／大内 夏実 撮影／余 有奈



築42年 工期2ヶ月	
解体工事	50万円
大工工事	150万円
材料費	50万円
左官・塗装工事	100万円
電気・給排水工事	30万円
造作家具	60万円
その他諸経費	60万円
<b>総額</b>	<b>500万円</b>

壁：珪藻土  
床材：ホワイトオーク  
          リボスオイル仕上げ  
建具：輸入&造作  
収納家具・吊棚：造作  
洗面：サンワカンパニー&造作  
キッチン：施主支給

## アンメゾンワールド株式会社

大阪府大阪市中央区谷町2-5-4 エフベースラドル79F

☎ 0120-171-747

http://www.am-world.jp/

住まいに自分をあわせるのではなく、自分にあった住まいを造ろう、それがリノベーションの考え方だ。例えば、神戸市のS-house。「お気に入りのカフェのような、カッコいい家」というオーダーを見事叶えたのがアンメゾンワールド。まず、依頼主と共にそのカフェに行き、デザインや世界観を共有することからスタートした。工事は天井も壁も全てめくり、スケルトンの状態から。天井は既存から15センチ高くなり、配管もむき出しのままに。この配管をうまくインテリアとして活用し、ワイヤーでアイアンの棚を吊り下げるなどインダストリアルな演出を採り入れた。

壁は珪藻土の塗り壁で質感を出し、床はホワイトオーク材をドイツの天然塗料オイルで塗装。自然素材は年数が経つほど艶が出て味わい深くなる。

古材をフル活用したキッチンカウンターはオールドアメリカンスタイルのバーのような仕上がり。建具は輸入モノと造作したものを使い分けた。輸入モノは木の質感がよく、国内既製品を使うよりリリースナブルとか。ガラスを足場板で囲んだ、リビングにつながる開き戸はオリジナルデザイン。「ガチャ、キー、ボタン。」と動作に伴う音がノスタルジックでいい。木と鉄をバランスよく取り入れ、隅々まで「無骨なカッコよさ」を表現したアンメゾンワールド。デザインはもちろんだが条件にあう中古住宅探しからプロデュースしてくれる。